

2018年度施政方針を公表

持続的な市政の発展に取り組み、これからも進化する茅ヶ崎を目指して

服部信明市長は、市議会定例会初日(2月23日)、2018年度施政方針演説を行い、市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。

2018年度は、今後訪れる人口減少や進行する少子高齢化といったまちの大きな変化への対応を、重点的に進めていく大切な時期です。あらゆる世代が自分らしい生活を送ることができるよう、市民に身近な基礎自治体として茅ヶ崎の状況や特性を踏まえた施策を展開し、持続的な市政の発展に向けた取り組みを推進します。

【企画経営課企画経営担当】



現行の総合計画は2020年度まで 目標達成に向け、これからも歩み続けます

市政運営の総合的な指針となる現行の総合計画(2011~2020年度)が残り3年となりました。扶助費^{※1}など義務的経費の増加が見込まれる中、「子育て支援」、「茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」^{※2}、「豊かな長寿社会の実現」^{※3}に関する取り組みのうち、特に緊急度の高い事業を優先しながら、総合計画に位置付けた目標を達成すべく、既存事業を着実に推進します。加えて、2021年度を初年度とする次期総合計画の策定に本格的に着手し、市民のみなさんのご意見をいただきながら、次世代につなげられるような計画の検討を進めます。

※1 扶助費
生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、生活を維持するために支出される福祉的な経費。

※2 茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略
将来目標人口を達成するため、2016年3月に策定。総合計画に掲げた施策・事業のうち、人口減少・少子高齢化対策やまち・ひと・しごと創生に資する施策を絞り込んだもの。

※3 豊かな長寿社会の実現
超高齢社会に対応したまちづくりを行うため、2015年2月に基本方針を策定。「元気で、自分らしく、生涯暮らせるまち」を実現するための施策を盛りこんだもの。

2018年度に予定している主要な事業

総合計画基本構想におけるまちづくりの基本理念別

ひとづくり

248億3507万9000円

継続 ◆ 新たな待機児童解消対策

**継続
拡充** ◆ 放課後児童健全育成事業・学びの場の創出事業・長期休暇対策事業



保育園待機児童がゼロとなるよう、多様な手法を活用して取り組みを進めます。併せて、児童クラブの待機児童解消についても取り組みを進め、就学後も継続する保育需要に対応します。

その他の主な事業

- ・小児医療費助成事業
- ・新教育基本計画策定事務
- ・(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業
- ・小・中学校空調設備整備
- ・学校施設(調理場)新設事業
- ・茅ヶ崎市民文化会館再整備事業
- ・柳島スポーツ公園維持管理・運営事業
- ・平和啓発事業

地域づくり

759億1343万円

**継続
拡充** ◆ 地域医療センター再整備事業



(仮称)地域医療センター等複合施設(イメージ)

茅ヶ崎医師会の設計、施工により、資源物選別処理施設跡地(茅ヶ崎3丁目)に休日・夜間急患センターと三師会(茅ヶ崎医師会、茅ヶ崎歯科医師会、茅ヶ崎寒川薬剤師会)の事務所を備える複合施設を設置します(施設完成後、休日・夜間急患センターの部分を市が買い取り)。これにより、利用者の利便性の向上と三師会との連携強化を図ります。

その他の主な事業

- ・地域福祉推進事業(ちがさきの地域福祉プランの中間評価結果を踏まえた取り組み)
- ・高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定及び推進
- ・障害者保健福祉計画に関する事務
- ・市立病院の建設改良に関する事務
- ・市保健所の円滑な運営及び地域保健・公衆衛生のさらなる向上

暮らしづくり

66億6140万6000円

新規 ◆ 家庭ごみ有料化導入の検討業務

さらなるごみ減量の推進、ごみ処理施設整備にかかる経費の財源確保などのため、家庭ごみ有料化の導入を検討します。検討にあたっては、市民のみなさんのご意見を踏まえるとともに、先行事例を調査・研究します。

その他の主な事業

- ・粗大ごみ処理施設の整備
- ・防災行政用無線整備更新事業
- ・避難標識整備事業
- ・消防の広域化の検討
- ・消防署本署の再整備

まちづくり

187億4575万7000円

継続 ◆ 中央公園再整備事業

供用開始から約30年が経過した管理棟のバリアフリー化を図るため、建替工事を実施します。新しい管理棟には多機能トイレ2か所と防災機能付きのトイレを設置します。

その他の主な事業

- ・都市マスタープランの見直し
- ・都市防災推進事業
- ・香川甘沼線道路改良事業
- ・道の駅整備推進事業
- ・水産物供給基盤機能保全事業
- ・浜見平地区拠点整備事業

行政経営

139億4322万7000円

新規 ◆ 小出支所の耐震補強工事・施設改修工事

1978年に建築され、老朽化が進む小出支所庁舎の耐震補強および施設改修工事を行います。具体的には、耐震補強工事の他に、外壁改修工事、2階集会室のエアコンの更新、トイレの洋式化やバリアフリー工事を行います。



耐震補強、施設改修が行われる小出支所

その他の主な事業

- ・ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事業
- ・茅ヶ崎市次期総合計画の策定
- ・(仮称)河童徳利ひろば整備事業
- ・本庁舎跡地周辺整備事業
- ・次世代経営マネジメント推進事業

※ 施政方針の全文は、市内の主な公共施設や市庁舎でご覧いただけます。

